

20日 5月 2019

【教職員向け研修会】新発田市小学校防災キャンプ事前研修会



平成31年4月24日（水）、25日（木）
新発田市小学校防災キャンプの事前研修会を実施しました。

3年目となる、新発田市内全小学校が青少年
宿泊施設「あかたにの家」で行う防災キャン
プに向けての研修会。

まずは、群馬大学大学院理工学府の金井昌信
教授より、全国の防災キャンプの実施状況とその課題、防災の教育効果の可能性についてお話
いただきました。

その後は、サバイバルクッキングや、防災グッズ作り、毛布担架作り、ハザードマップを活用
したグループワーク、足湯体験など、2日間に分けて体験しました。



また、今年は授業での導入やまとめに使うためのパワーポイントを各学校に配付し、先生方が
好きにアレンジして使うことができます。
そのパワーポイントも使用しながら、当日のプログラムの様子を体験していただきました。

キャンプの計画作りや当日の指導の参考になっていたら幸いです。
今後も新発田市の防災教育を微力ながら応援していきたいと思います。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

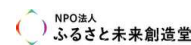
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



23日 5月 2019

【防災玉手箱】御用聞き研修会



平成31年4月28日（日）13：30～16：30
長岡市内の小・中学校には「長岡市防災玉手箱」という防災教育の教材資料が配布されています。

毎年先生方の声（希望や改善点、使用してみたの感想など）から新しい資料を追加したり、差し替えを行ったりしています。

お忙しい先生方に負担のないように、その改訂資料の差し替え作業は、地域の方々と一緒に学校を訪問して行います。

地域の方（「御用聞き」と呼んでいます）が春に学校を訪問し、改訂資料の差し替えを行うため、毎年訪問前に研修会を実施しています。

- ・どんな資料が追加になったのか
- ・昨年度、学校からどんな声が多かったのか
- ・自分の担当校以外ではどんな取り組みをしているか
- ・防災学習の参考例

など、みなさんで意見交換をしながら行いました。



地域で支える防災教育体制を目指し、学校の先生に寄り添いながら、長岡市内の小・中学校のサポートを今年も継続して実施します。

カテゴリ：活動紹介, 玉手箱

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、

23日 5月 2019

【三条市立第四中学校】生き方講演会



2019年5月17日（金）三条市立第四中学校の生き方講演会にて、事務局長の中野雅嗣より、「君の小さなチャレンジが人の命を守る防災・減災になる」をテーマにお話しました。

夏日の中、みんな汗をかきながら一生懸命聞いてくれ、

災害時の話が出てくるとスッと空気が変わり、防災や減災に関する関心の高さが伺えました。

第四中学校のみなさんありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

24日 5月 2019

【防災玉手箱】長岡市立小国中学校



2019年5月24日（金）長岡市立小国中学校にて、地域の方から中越地震時の小国の様子をお話いただきました。

まずは、避難訓練を見学させていただきました。

逃げ遅れた人がいた設定。

点呼後に校舎に探しに行く先生、怪我人を見つけて担架を持ってくる先生方の様子を避難して待っている生徒も真剣に見ていました。

担当の先生の全体指導では、具体的なシチュエーションで、どう行動する？と問いかけながら、指示を待つだけでなく、「自分で考えて行動し、命を守ること」について伝えていました。

校長先生は、中越地震時に学校内にいて、物が倒れてきたり、廊下の壁が落ちて粉塵で真っ白だったり、体験したことを伝え、体験して必要だと思ったことや日頃のマナーが非常時につながっていることをお話されていました。



訓練終了後、体育館に移動し、担当の先生より、全校で新潟県防災教育プログラムを活用した防災学習を行いました。

そのまとめとして、長岡市防災玉手箱の講師を活用し、地域の小島春美さんより中越地震の体験談をインタビュー形式で当時の様子をお話いただきました。

10分という短い時間でしたが、まちの被害の様子、周りの人が協力して家族を助けてくれたこと、ミルクを飲んでいるお子さんと離れて被災して夜中に会えるまでとても心配だったこと等をとても真剣な目で聞いていました。

その後各教室に戻り、防災学習を行っている様子を見学させていただきました。

その後各教室に戻り、防災学習を行っている様子を見学させていただきました。

小島さんのお話から「もし地域内に危険な場所があったら、余っている懐中電灯などで周りの人もわかるように照らして置いておこうと思う」という感想を書いていた生徒さん。
校長先生の話から「逃げる時にだれかに声をかけることが大事。声をかけ合うことで、いない人がわかるかもしれない。」と書いていた生徒さん。

避難訓練の工夫、先生方の伝え方、学習をつなげることで、こどもたちが防災の意識を高めている様子を見ることができました。

小国中学校の先生方、みなさん、ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 地震, 避難訓練

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

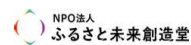
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



28日 6月 2019

【新潟大学教育学部附属長岡中学校】地震から命を守る



2019年5月28日（火）10：30～12：30
新潟大学教育学部附属長岡中学校第1学年を
対象に地震災害から命を守るための行動を考
える学習を行いました。

地震が起きた時の危険箇所やその時どのよう
に行動するか、グループワークを行いながら
学習しました。
それぞれのグループが別々の場所での危険箇
所や行動を考え、発表を行いました。

場所によっては、無理だ・・・どうしたらいいんだ・・・と

真剣に悩む姿がありました。

その後学習を進める中で、「命」を守るとはどういうことかに気付き、自分たちができる最善の行動を考えていました。

後半は、自分だけでなく家族全員の命を守るために日頃からできることを考えました。

- ◎家族の居場所を知っておく
- ◎集合場所を決めることで家族と会える可能性がある
- ◎自分が逃げたことを短時間で書けるメモを家族で相談し、決めておき、ドアに貼り付けて逃げる
- ◎近所の人と合流する。1人だとつらいけど、仲良くなっておくと安心できる。助け合える。などの意見が出ました。

その瞬間の一步が命を救う、という言葉が心に残っているという手紙をこどもたちからいただきました。

考えるだけでなく、行動すること。

自分だけでなく家族も守りたいという強い気持ちが、日ごろからできる行動に結びついていくことと思います。

ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 地震

01日 7月 2019

【防災玉手箱】長岡市立才津小学校



令和元年5月31日（金）長岡市立才津小学校にて防災グッズの展示と防災グッズ作りを行いました。

避難訓練後に起震車体験を行う際の待ち時間を利用して防災グッズをこどもたちに見せたい。ということで、学年別に順番に体験を行いました。

防災グッズの展示と新聞紙スリッパ作りの担当を防災玉手箱の地域サポーター、丸山隆氏

より担当していただきました。

「防災グッズは自分の命を守るための備えだよ」というお話から、実際にこんな時に使えるよ、といったお話がありました。

その後、中・高学年は新聞紙スリッパ作りも行いました。

お話の後には、実際にみんな手に取り、どんなものがあるのか確認しました。

「うちにもこれがある！」「何に使うの？」とみんな興味を持って確認していました。

その後保護者の方が引渡し訓練に来られ、保護者と一緒に見て、保護者に説明をしている子もいました。

才津小学校のみなさん、ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 備え, 避難訓練

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

03日 7月 2019

【新発田市立東中学校】全校防災学習



2019年6月7日（金）14：20～15：10
新発田市立東中学校にて全校防災学習を行いました。

過去の地震災害による被害写真や映像を確認した後、地震発生時の危険箇所とその時どのように行動したら良いか、グループで考えました。

その後、東中学校も避難所になることを伝え、避難所の様子や課題についてお話ししました。

大勢の人が避難してくる中で、身近な物を工夫して防災グッズを作る体験（新聞紙スリッパ作り）を行い、災害時の中学生の役割、中学生にできることを過去の災害事例から伝えまとめました。

先生方からも大変わかりやすい説明と、写真資料等があり、こどもたちが災害時のイメージを持って活動することができたとのこと言葉もいただきました。ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 備え, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com

03日 7月 2019

【新発田市立東豊小学校】わたしの家の非常用持ち出しグッズを考える



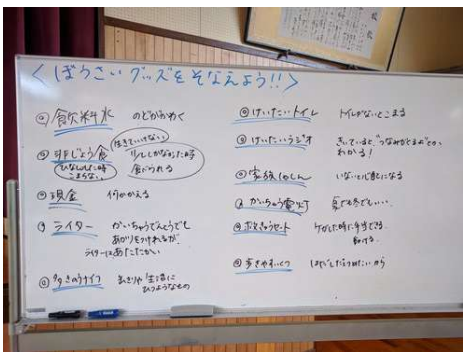
新発田市内小学校が青少年宿泊施設あかたにの家で毎年行う防災キャンプが今年もはじまりました。

2019年6月11日（火）13：00～14：30
新発田市立東豊小学校第4学年78名があかたにの家で1日防災キャンプを行いました。
その中で、非常用持ち出しグッズを考える活動を担当させていただきました。

中越地震の被災体験談、子どもを連れて避難所に行った様子やライフラインが止まって困

ったことなどをお話した後、グループでどんな防災グッズが必要か考えました。
自分が必要だと思うもの、他の人が必要だと思うものが違うことに気付きました。

災害時の話をした時は、「なんだか心配になってきた。」とつぶやく男の子。その心配を少しでも減らし、自分や家族の命を守るためにどんな準備が必要か考えよう！と伝えた後グループワークでも積極的に発言をしていました。



休憩後、講師の家の玄関に置いている、家族のだれでもすぐに持ち出せるカバンに何が入っているか紹介し、グループでも必要なものが違うんだから家族構成や年齢、性別によっても必要なものが違う事を確認しました。

家族それぞれどんなものが必要な、個人で書いている時、
「一緒には住んでいないけど、おばあちゃんのものも書いてよい？」
「おねえちゃんはぬいぐるみが大好きで、一緒に持って行きたいと思う」

と一人一人が真剣に家族のことを考えていました。

とても優しく、思いやりのある東豊小学校のみなさんでした。

家に帰ったら家族に自分が考えたものを伝えて、話し合いをすることを伝えて終了しました。
家族にみなさんの想いが伝わることを願っています。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 備え, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー

04日 7月 2019

【新潟市立新津第二小学校】親子防災講座



2019年6月14日（金）14：50～15：20
新潟市立新津第二小学校にて、親子防災講座を行いました。

通学路や教室内の写真を使って、その場所で地震が起きたらどのような危険があるかをみんなで考えました。

自分の知っている場所の写真を映して

「地震が起きたらどこが危ない？」と問いかけると、

「家が崩れるー！」

「電柱が倒れて電線が切れるー！」

「窓ガラスが割れるー！」「本棚が倒れるー！」

と、たくさん子ども達が手を挙げて発言してくれました。

地震の被害写真でイメージを膨らませ、自分が生活してる場所で地震が起きたら、様々な危険が潜んでいることに気付きました。

写真を見た後には、自分のいのちを守る行動として、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」

3つのない場所でしゃがんで頭を守るということを保護者と共に学びました。

下校時には家族で通学路における地震発生時の危険箇所を確認しました。

新潟地震から55年、先日も新潟・山形地震が発生し、津波注意報が発生しています。

地震等の災害は、いつ起こるかだれにもわかりません。

家族で防災について、ほんの少し考えたり、話し合ったりしてみませんか。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、

わくわくする「防災教育」をきっかけに、

よりよい未来を創る

地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

18日 6月 2019

【新潟市立阿賀小学校】防災体験プログラム



令和元年6月15日（土）13：20～14：20
新潟市立阿賀小学校にて、防災体験プログラムの中の煙体験を実施しました。

引き渡し訓練の前に、1～4年生に2種類の体験をしてもらいました。

①バケツリレー（講師：地域防災士4名）

②煙体験（講師：NPO法人ふるさと未来創造堂 坂谷辰巳）

1・2年生と3・4年生に分かれ、交互に体験してもらいました。煙体験では、まず煙についてお話をしました。

「煙ってあったかいよね」

「煙って上に行くんだよね」

「助かるには、どうしたら良いかな？」

子ども達からは、「しゃがむー」「ハンカチを口にあてるー」と次々に声が上がりました。

なぜハンカチを鼻と口にあてるのか、なぜ低い姿勢で歩くのかを学び、順番に煙体験をしてもらいました。本当の火事を見つけた時には、【絶対に近づかない】【119番通報をする】事も学びました。



カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 火災

09日 7月 2019

【新潟市立青山小学校】全校津波・避難所学習



2019年6月17日（月）13：45～14：30
新潟市立青山小学校にて全校防災学習を行いました。

青山小学校では、毎年6月に新潟地震から地震や津波災害について知り、地震・津波災害からの命の守り方全校縦割り学習をしています。

引渡し訓練前の学習のため、保護者の方も大勢参加してください。毎年繰り返し学習することで、家族で確認する機会になります。

まず最初は恒例の、新潟地震時の様子や新潟市にも津波が来たときの話と津波からの身の守り方を伝えます。

その後、わくわく班という縦割り班で活動します。

今年のテーマは「避難所」です。

避難所の様子、困りごとを写真資料やクイズ形式で学びました。

そして、避難所で困りごとが起きているという状況設定を伝え、「その困りごとを解決するためにどんなことができるか」グループで考え、発表しました。

日ごろ学校で行っている活動と結び付け、避難所で元気のない人に「声をかけよう」「ダンスしてあげよう」「一緒にあそんであげよう」など様々な考えるができました。

実際の避難所でのこどもたちの様子を伝え、みんなで協力することや自分で考え行動することが大切なことを伝え、まとめました。

カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 避難所, 津波, 地震

災害から人の命が守られる社会を目指し、

09日 7月 2019

【新発田市立猿橋小学校】防災キャンプ



2019年6月24日（月）新発田市青少年宿泊施設あかたにの家にて、新発田市立猿橋小学校第4学年124名が防災キャンプを実施しました。

避難所ってどんなところなのか、どんな困りごとがあるのかを体験談とともに伝えた後、避難所でできる身近なものの工夫を体験しました。

お昼に実際に使用する新聞紙食器や防寒や衛生面でも役立つ新聞紙スリッパ作りを行いました。

した。

その後先生方からサバイバルクッキングを教えてもらいながら、ごはん野菜スープ、じゃがりこサラダを作りました。

休憩後、災害時の食事について、栄養面やあたたかい食事の大切さを実際の避難所の様子から伝え、活動を振り返りました。

最後にグループで協力して、段ボールシェルター作りを行いました。

大人数でしたが、先生や私たちの話がはじまるとしっかりと顔を上げ話を聞いている、たのしい猿橋小学校の子たちでした。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所, 備え, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

法人ふるさと未来創造堂

09日 7月 2019

【新発田市立二葉小学校】洪水災害から身を守る・災害時の工夫を知る体験



2019年6月26日（水）新発田市青少年宿泊施設あかたにの家にて、新発田市立二葉小学校第5学年51名が防災キャンプを実施しました。

保護者ボランティアのみなさんがすべての活動をサポートしてくださり、とても充実した活動となりました。

まずは滝谷森林公園で川活動。
滝谷森林公園の職員の方から川での救助体験を実際の現場が見える場所でお聞きしまし

た。

一気に水が増えてしまったこと等実際の様子を聞き、雨が降ってきた時や、川でサイレンが聞こえた時はすぐに高い所に移動すること等、自分の命を守るための行動を確認しました。

その後、実際に川を歩き、歩きづらさや冷たさを実感しました。

大雨の時道路が水に浸かってからの避難は、川と違って水が濁って周りも見えないし、とても危険、早めに情報を聞き避難することや住んでいる地域がどうなるか確認しておくことを伝えました。



あかたにの家に移動し、災害時に電気がつかえず真っ暗な避難所や夜にやさしい灯りで足元や枕元を照らすことができるペットボトルランタンを作りました。

みんなの心を少しでも元気にするためにどんな絵を書こうか考え、一人一人が素敵でランタンを作り、宿泊時に使用しました。

この活動をしている間、保護者ボランティアの方がサバイバルクッキングの準備をしてく

ださいました。

分量を確認したり、道具の準備をしたりと大活躍でした。

ランタンの後は夕食作りです。

保護者の方が各班にサポートに入ってください、とてもおいしいごはん、スープ、サラダが完成しました。



災害が起きた時はまず自分の命を守ること、そして避難所ではみんなで協力して乗り切ること、工夫することを二葉小学校のみなさんは日頃から学校・地域・家庭で様々な体験をしながら学んでいるのだと感じます。

※こどもたちからのお手紙からの抜粋です。
「ぼくはひなん所の生活は家みたいにできないし周りの人などがいっぱいいて大変だなと思いました。」

「川はすごくすべって転びそうでした。けどそのことがわかって本当の災害の時にどう

したらいいのかが分かりました。」

「とくにごはんを分け合って食べること、協力してごはんを作ることが心にのこりました。」

最後に、「川活動までと思っていたけど、最後までいます！」と残ってサポートしてくださった保護者の方がいたり学校だけでなく、地域家庭と一緒にこどもの命を守る二葉地域のみなさん。

ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 避難所, 洪水, 備え

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



20日 8月 2019

【防災玉手箱】長岡市立十日町小学校



2019年6月27日（木）10：40～12：15
長岡市立十日町小学校にて、第4学年総合学習の中で「地震発生時、自分の命を守るためにどのように行動したらよいか考える」活動を行いました。

地域みんなの力で乗り越えた十日町地域の中越地震時の避難所運営の様子を、地域の方から直接お話を聞き、地震から身を守るために何が必要か考えてきた十日町小学校のこどもたち。

これまでの活動から、

- ・自分事として考えているが、地震後の生活のイメージが強い
- ・地震が発生した時の事をイメージできていない

という子どもたちの様子から、地震発生時に自分の命を守るための行動について考える活動することになりました。

教室前の廊下に出てどんな危険があるか確認したり、ワークシートを使って学校内外の地震発生時の危険箇所やその場所での身の守り方を考えたりする活動を通して、地震発生時の様子や自分の行動について考えることができました。



私たちの住む十日町地域は、みんなで協力したり助け合ったり、素晴らしい地域！と自分たちの地域に誇りを持っている十日町小学校の子どもたちです。
災害が起きた時、自分の身を守ることができれば、きっとみんなで乗り越えていける。

家にいる時、通学路や友達の家遊びに行っている時などをイメージし、自分や家族の命を守るためにどのようなことが大切か、何ができるか、これから考え行動していくことと思います。今後の活動が楽しみです。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 地震

20日 8月 2019

【防災玉手箱】長岡市立栖吉小学校



長岡市立栖吉小学校第5学年の総合学習では、防災をテーマに学習を行っています。

これまで地震について学習してきた中で、こどもたちが地震が起きた時のことと避難所生活のことについての疑問や不安を付箋紙でまとめていました。
その内容を基に、以下2回の防災学習を担当させていただきました。

①2019年6月28日（金）10：40～12：15
学校内外で地震が起きた場合にどのような危険があるのか、またどのように自分の身を守るかを考える活動を行いました。

グループで考える活動を通して、自分の命を守る行動を学び、災害発生前の準備の大切さを知ることができました。



②2019年7月8日（月）10：40～12：15

地域の方を招き、中越地震の体験談を聞きました。
語り部：川上英治様、大原良子様

事前に地域の方から当時のお話を聞き取り、こどもたちの事前質問の内容にできるだけ合わせ、どのような流れでお話すると子どもたちに伝わるか、打合せを行いました。

当日は、中越地震当時、児童館に勤務されていた大原様と市役所職員で避難所の運営をされていた川上様のお二人に交互にインタビューしながら時系列でお話していただき、こどもたち真剣にメモを取りながら聞いていました。

5答の後、お話を聞いて「地震にそなえて確認しておきたいこと、やらなきゃいけないこと」をグループで付箋紙に書き出し、発表を行いました。

「逃げる場所」「物の場所」「家の場所」「家族がバラバラの時どうしたらよいか」「どんなものをそなえたらいいか」等様々な意見がありました。

最後に、新潟県が発行している「家族防災会議」のパンフレットを紹介し、家族で相談しておくが大切、夏休みに家族で話し合うことを伝え、まとめました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 避難所, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

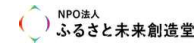
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



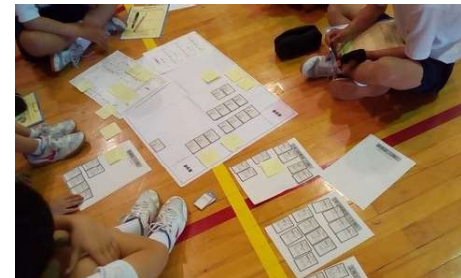
Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

[Cookie ポリシー](#)



21日 8月 2019

【防災玉手箱】長岡市栖吉中学校



2019年7月9日（火）8：40～10：30
長岡市立栖吉中学校第1学年総合学習にて避難所運営ゲームHUGの体験学習を行いました。

これまで学校で防災をテーマに学び、震災アーカイブセンターきおくみらいへの施設訪問も行い、中学生にできることを考えてきたそうです。

さらにこの活動を通して、避難所の運営はどんなことがあるのか、運営する人たちの大変さを知ること、

自分たちは「誰に対して」、「どのようなことをやりたいか」、「何ができるようになりたいか」具体的なイメージを持つことをねらいに進めました。



「高齢者に対して」、「困っている人に対して」、「自分から声をかけること」や「運営の手伝い」、「協力すること」等様々な意見が出ていました。

栖吉中学校は今年から栖吉小学校と合同の避難訓練も予定しています。

他の活動も通して、新しい気づきや変化が生まれたり、学びを深めたり、子どもたちが変化していく様子を楽しみに今後もサポートしていきたいと思っています。

栖吉中学校のみなさんありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 避難所, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
くする「防災教育」をきっかけに、
い未来を創る

12日 7月 2019

【新潟市立潟東小学校】地震被災体験講話・新聞紙スリッパ作り



2019年7月11日（木）13：55～14：40
新潟市立潟東小学校にて、第3学年の参観日に地震被災体験講話と新聞紙スリッパ作りを行いました。

中越地震発生時の写真を見て、実際の被災体験談を聞き、当時の様子や、避難所生活でどんな困り事があるのかを学びました。

電気・ガス・水道が使えなくなった避難所生活では、どんな困り事、心配事があるのかを保護者と一緒にみんなで考えると、

「電気が点かかないと、お風呂やトイレが暗い」「病気になるたらどうしよう」「体が洗えない」など様々な意見が出ました。

解決するために、自分たちには何ができるのか。

病気になるために、体操をして体を動かしたり、掃除をして感染症を予防する。

体が洗えない時は、ウェットティッシュなどで体を拭く。

いつも学校でしている掃除や、身近にあるもので解決できることもあるという事を学びました。



保護者と一緒に、新聞紙スリッパを作りました。

避難所にたくさんの方が集まると、スリッパが不足してしまいます。災害時は、雪の降る寒い冬ということもあります。もしかしたら、裸足で避難してきた人もいるかもしれません。少しでも寒さをしのげるように。衛生的に過ごせるように。

身近にある物を工夫して、履物ができるんだ！

ということを体験しました。

自分の足のサイズに合わせて折り込んだり、靴のように足を包み込むように工夫する様子も見られました。

子ども達は、自分で作った新聞紙スリッパが出来上がると、嬉しそうに履いていました。

先生からは、今日の勉強をきっかけに、自宅の避難袋に新聞紙を入れようと思いました、とお話していただきました。

熊本地震時に、避難所で小学生が活躍した様子も学びました。子ども達の力は、大人の助けにもなる頼もしい存在です。

潟東小学校の子ども達も、自分に出来ることを考え行動が出来るようになってくれると私たちも期待しています。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

[Cookie ポリシー](#)

06日 8月 2019

【防災玉手箱】長岡市立新町小学校全校防災講座



2019年7月16日(火) 15:15~16:05
長岡市立新町小学校にて、全校防災講座を行いました。

約380名の児童たちが登校班ごとに分かれ、地震発生前の写真を見て、地震が起きたときに危険になる場所はどこかをみんなで考えました。

「電線は、切れて落ちてきたら感電の危険がある。」「大きな揺れで、車が歩道に突っ込むかもしれない。」他にも、ブロック塀や窓ガラス、自動販売機の近くなど、倒れたり割れたりして危険だという意見をたくさん発表してくれました。



そんな危険な状態の時に、自分の命を守るためには？

「公園や広い所に逃げて、しゃがんで頭を守る。」「ランドセルがあったら頭に掛けて頭を守る。」など、こちらも活発に意見を出し合い、高学年がリーダーシップをとってまとめていました。

最後に代表の児童から、
「危険なところを見つけることができた」
「今日下校する時も、どこに危険があるか注意してみたい」「もし今地震が起きたらとい

う事を意識して、どのように身を守るかを考えたい」と、防災意識が高まった様子を感じました。

いざという時には、今日学んだことを生かして自分の命を自分で守れる子どもになってほしいと願っています。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 地震

19日 7月 2019

【新潟市立潟東中学校】避難所運営ゲームHUG体験



7月18日(木) 14:05~15:55
「新潟市西蒲区防災キャンプ事業」として、新潟市立潟東中学校にて、避難所運営ゲームHUGを活用した防災学習を行いました。

1年生46名が10グループに分かれ、避難所を運営する立場を模擬体験しました。

避難者カードやイベントカードが次々に読み

上げられ、それぞれに合った対応を考えたり、迅速な判断をすることの大変さを感じながら一生懸命考えていました。

「猫なら、ウサギ小屋と一緒に入れても大丈夫かな」「病気やケガの人は、保健室で休んでもらおう」

「通路を作ると、みんなが楽に動けるね」「毛布が届いたけれど、全員分は無いから、とりあえず器具庫に保管しておこう」

「タバコはプールの近くで吸ってもらおう。誰も行かない場所だから、他の人の迷惑にならないよね」

など、たくさんの意見を出し合っていました。



体験後には、気づいたことや、避難所で大切だった事を模造紙に書き、グループ内で発表し合いました。

「避難所の環境を整えることが難しかった」

「1つ1つ対応していくのはとても難しいし、大変」

「自分が思っているより、素早く行動が出来なかったけど、そこに気づけて良かった」

「1人だけだと無理でも、協力してやると無理なことが出来るようになる」

「協力」「助け合い」「判断力」「ゆずり合い」「思いやり」「我慢」「リーダーシップ」

みんなが大切だと思ったワードもたくさん出てきました。

そして、「避難所で私たちにできること」を考え、具体的に理由も書いてもらいました。

- ・中学校が避難所になったら、学校の中を良く知っているのは私たち。だから「案内係」になる！
- ・みんなで協力して、お互いに支え合う。話を聞く。
- ・協力、普段からの挨拶。
- ・避難所をよくわかっているから、困っていたりパニックになっている人がいたら、その人を助けたり、解決したりする。

等、たくさんの意見が出ていました。
地域の一人として、積極的に活動する潟東中学校の一年生の姿を見ることができました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

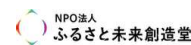
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



21日 8月 2019

【防災玉手箱】教職員研修会



長岡市防災玉手箱の活用方法に関する職員研修会の依頼を受け、以下のとおり実施しました。

- ①2019年7月26日（金）9：00～10：20
対象：長岡市立川崎小学校 教員14名
内容：①防災玉手箱の貸出DVDを活用した洪水災害に関する学習例
②放射線簡易測定器を使った原子力災害に関する学習例

- ②2019年7月30日（火）10：30～11：30

対象：長岡市立深沢小学校 教員8名
内容：新潟県防災教育プログラムをアレンジした対話的な学習
（玉手箱貸出DVD・玉手箱内ハザードマップの活用）



川崎小学校では、新潟県防災教育プログラムを活用して学習する時に、貸出DVD「洪水災害発生！その時命を守る備え」を語り部の代わりに使用した学習の流れを体験していただきました。

こどもたちにどのように問いかけ話し合わせるか、またどのような反応が返ってくるか、これまでの学習の様子を含めてお話させていただきました。

放射線簡易測定器はかるくんは、学校で使いたい時には新潟県立教育センターから借りることができます。
低学年、中学年が原子力災害について学習する時に、目に見えないものについて知識だけ伝えてもむずかしい。
まず教室内の数値を測ったりすることで、楽しみながら、動機付けを行う活動を先生方にも体験していただきました。

こ、長岡市の原子力災害に関するパンフレット（玉手箱内参考資料）や新潟県防災教育プログラム原子力災害編を使いながら、どんな風にこどもたちに伝えているかを紹介させていた

できました。

終了後、「教員の中でも災害の体験は様々。私も水害を体験しているが、その経験を教員内にも伝えていくことも大切だと思った。」「具体的に学習の流れをイメージすることができてよかった。」との声をいただきました。



深沢小学校では、まずは川崎小学校同様に貸出DVD「洪水災害発生！その時命を守る備え」を活用し、話し合いを模擬的に体験。

その後ハザードマップを活用し、こどもたちがグループで避難場所や避難経路について考える学習の流れを紹介しました。深沢小学校の地域では土砂災害の危険もある地域のため、実際にハザードマップを見ながら確認し、驚きの声や質問が飛び交っていました。

子どもだけでなく家庭内での防災意識を高めることが、実際の避難行動を行う時に大切なことを伝え、学校での学習を家庭にも伝えていくための工夫も紹介させていただきました。

「自分の家のハザードマップも確認していなかった。早速家に帰って確認したい。」「こどもたちの命を守るために、この研修会を活かしていきたい」と声をいただきました。

今回、防災玉手箱をどのように活用するのか、どんなものが入っているのか、どんなサポートがあるのか、等知っていただきました。

また、参考に学習の流れを体験していただきましたが、こどもたちの様子を一番理解している先生方がそれぞれの学校やクラスの状況に合わせて実施していただく時の少しのヒントになれば幸いです。

お忙しい中、ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 原子力, 土砂災害

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

I-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

09日 9月 2019

【上越市立稲田小学校】防災フェア



イベントでした。

2019年8月31日（土）午前中に上越市立稲田小学校で防災フェアが開催されました。消防署の消火体験や社会福祉協議会の車いす体験、上越等様々なブースがある中で新聞紙スリッパ作りと非常用持ち出し品の展示を行いました。

こども達が各ブースをまわりスタンプを集めると、ガラポンを引くことができる楽しいイ

折り方の説明をすると低学年の子でもすぐに作業をイメージして折ることができる稲田小学校のこどもたち。

ブースの手伝いに入ってくださった保護者のみなさんからも、驚きの声があがっていました。

「新聞紙食器はラップやビニール袋をかけて使うんだよ」と伝えると「あ～！もう一回使える！」と気づく子がいたり、新聞紙スリッパを丁寧に畳んで「家で練習しないと」という子もいました。



保護者の方には、新潟県長岡地域振興局発行の「にいがた災害食レシピ」を配布しながら作り方の説明をすると、質問がどんどん出て大変興味を持っていただきました。

地域教育コーディネーターさん、学校の先生、保護者のみなさん、たくさんの力でこの防災フェアが開催されています。今後も何かできることがあれば、お手伝いさせていただきます。

カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 備え

20日 9月 2019

【防災玉手箱】長岡市立中島小学校洪水避難訓練と防災学習



2019年9月4日（水）9:30～10:10

長岡市立中島小学校にて、洪水災害を想定した避難訓練がありました。

「大雨による信濃川堤防決壊の恐れ、避難勧告あり」という想定で、校舎4階への避難訓練をしました。「お・は・し・も・て」が徹底され、みんな静かに避難ができていて素晴らしい訓練となりました。

訓練後に玉手箱サポーターの小林俊晴氏より、地震と違い大雨は予測できる災害であること、その情報を基に行動することを伝えていただきました。また、「大雨が降ると側溝の水があふれるから、日ごろから家の周りの側溝の掃除をしておく」と良いよ」など身近な危険への対応もお話いただきました。

その後は全校防災学習。

講師：NPO法人ふるさと未来創造堂 中野雅嗣

写真資料等から大雨による洪水災害の危険性や、中島小学校の周りは何メートル浸かる可能性があるのかな？どこに逃げる？など話し合いを行いながら、自分の命を守る行動について学習しました。「近所の高いところに逃げよう！」「マンションやアパートに逃げたらどうか」と昨年よりもさらに真剣に取り組んでいる中島小学校の子どもたちと先生方の姿を見ることができました。

最後に校長先生からは「何かあったらとにかく逃げる。これが一番大切」と、お話がありました。家に帰ったら、「大雨になりそうな時どう行動しようか」「どんな準備がいるかな」と家族で話し合いをすることを伝え終了しました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 避難訓練

20日 9月 2019

【新発田市立二葉小学校】いのちの学習



2019年9月5日（木）13:45～14:30

新発田市立二葉小学校オープンスクールいのちの学習の中で、第6学年が防災学習を行いました。

新潟県防災教育プログラム地震災害編選択6の内容に沿って学習を行い、その中で中越地震の被災体験講話をしました。

地震発生時の被害写真を見て、地震の被害を学び、電気ガス水道のライフライン、インターネットが止まってしまった場合、どんな困

り事があるのかをみんなで考えました。

- ・どこに何があるかわからないよね
- ・なま物も食べられない、冷蔵庫も使えない
- ・安否確認ができない（情報がとれない）

実際に避難所生活を送った時にどのようなことに一番困ったか体験談をお話し、困ったままではなく、解決する方法はないか再度グループで相談しました。

懐中電灯を準備することや4年生で行った防災キャンプを思い出しペットボトルランタンについても発表してくれました。

最後に、準備をしていても日常生活ですぐにそのものが使えるか（停電時、すぐに届くところにあるかな？等）問いかけました。

どこにあるかわからない、使えないとの声。

じゃあどうしたらよいかな、と投げかけ終了しました。

振り返りワークシートでは、「家にあるものを確認した」「家族でペットボトルランタンの作り方を確認した」等行動にうつしてくれている子がたくさんいました。

2年前に防災キャンプで担当させていた学年のこどもたちでしたが、成長した姿に驚きました。班の中で一人一人の意見に耳を傾ける姿、班の意見を「これとこれがつながるね。ということは・・・」とまとめながら話し合い活動を進める子どもたち。

早稲学年としてこれからも活躍していく二葉小学校のみなさんを応援しています。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 地震

04日 11月 2019

【新発田市防災キャンプ】新発田市立加治川小学校



2019年9月17日（火）14:45～16:45
新発田市立加治川小学校45名を対象に、青少年宿泊施設「あかたにの家」での防災キャンプをサポートさせていただきました。

中越地震の体験談や防災クイズ、防災グッズ作り、消火器体験などを通して、災害時の様子をイメージし、自分の命を守ったあとにみんなで協力する事の大切さを実感できたようです。

今日の体験を忘れずに、身近な物を工夫したり、みんなで協力したりしていきたいという感想がありました。

カテゴリ：活動紹介, 避難所, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

24日 9月 2019

【防災玉手箱】長岡市立栖吉小・中学校合同防災学習



2019年9月17日（火）10:30～11:30
長岡市立栖吉中学校の体育館にて、栖吉小・中学校の合同防災学習を行いました。

毎年、全国各地で様々な災害が発生し、その後の避難所生活では小・中学生の活躍が大きな力となっています。

小・中同時に避難訓練を開始し、小学校は一度グラウンドに避難した後、中学校に2次避難をしました。

体育館では、中学生が番号札を掲げ、小学生

たちを列に誘導しています。

高学年が低学年の手をつないで連れていく姿、「〇班こっちだよ」と小学生に声をかけ、不安そうな子にしゃがみながら声をかけている中学生の姿がありました。

小学生と中学生の異学年が交流を持つ良い機会になりました。



そして、小・中合同の班で避難所について考える学習と防災グッズ作りを行いました。

中越地震の時に避難所になった栖吉小・中学校の様子を、
当時市役所の職員で避難所の責任者であった川上英治様よりお話をいただきました。

大勢の避難者がいたこと、水道、ガス、電気が使えない中、地域の方みんな協力して避難所生活を送ったことを知りました。

近所の農家さんがお米を持ってきてくれて、

温かいご飯を食べることができたことや、トイレの水を流すためにみんなで協力してプールの水を何度も運んだことなど、地域の人たちと協力して生活をする事の大切さを教えてもらいました。

避難所での困り事を伝え、その困りごとをどう解決したら良いか、小・中合同の班で意見を申し合いました。



中学生がリーダーシップをとり、「段ボールを工夫したらいいんじゃない?」「足元が見えないのがこわいと思う」など、それぞれ小学生も中学生も積極的に発言していました。

2つの事例についてグループワーク、発表を行った後、困りごとを解決する一つの例として、新聞紙コップを作りました。

「かんたんーん」「このままで飲むのは嫌だ!」と話しながら楽しく活動を行いました。

た。

清潔なビニール袋をかけ、実際に水を飲む実演を行い、「おー!!」と驚きの声があがっていました。

「ツナ缶ランプ等の工夫や地域との協力を今日学習して、みんなで安心できる避難所にしたいと思いました。」「今日の学習を家族や他の人にも教えてあげて、協力していきたい。」という感想がありました。

地域の方と一緒に学習を進めていくことで、栖吉地域はますます安心安全な地域へ向かっていくのだろうと感じました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 避難所, 備え, 地震, 避難訓練

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

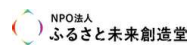
NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



20日 11月 2019

【防災玉手箱】長岡市立上塩小学校 全校防災学習防災グッズ作り



2019年9月18日(水) 8:45~9:30
長岡市立上塩小学校にて、洪水をテーマに全校防災学習を行いました。

過去の洪水災害の写真資料を見ながら、大雨が降り続くとどのような災害が起こるのか、また洪水の怖さや命を守る行動について学びました。

災害時、上塩小学校は避難所となります。安全に避難するために、通学路などで浸水しやすい場所や危険な所を知っておくことも大切なことだとお話をしました。

講話後、地域サポーター3名と一緒にビニール袋で雨がっぱ作りをしました。暴風雨時は、傘は使えません。身近にあるもので簡単に作れる防災グッズに、子ども達は真剣に取り組んでくれました。

洪水災害は、予想ができる災害です。早めの避難で命を守ることができます。ご家庭でも、災害時の行動についてぜひ話合ってみてください。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 備え

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

23日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立大島小学校



①2019年9月18日（水）10：40～11：25

中越地震の語り部学習

体験談：平澤康宏様（川口在住）

震源地震度7、職場にいた平澤さん。

その時の町の被害や人の様子、帰るまでの道のり、途中で知らない人の家に車をとめさせてもらい、歩いて小千谷まで帰ったこと。家には誰もいない。「避難所」という事を考えたこともない、知らなかった。とにかく、人がいそうな所を探し、家族を見つけた。

というお話にはじまり、すぐに駆けつけてくれた自衛隊の人やボランティアの人の様子、家族や地域の人とどのように乗り越えたかをお話いただきました。

質疑応答を挟んで、地震後に行った全国に感謝を伝えるイベントや東日本大震災への炊き出しの体験談、新潟からできる実際に行ってきた支援の様子をお話し、「みんなができること、小さな一歩でもいい。みんながかんがえてほしい。」とメッセージを伝えていただきました。



「災害食作り」は地域サポーター鳥羽和子様、坂谷辰己様が担当し、野菜スープやポテトサラダ、蒸しパン作りを行いました。

昨年に引き続き、長岡市立大島小学校第5学年の総合学習では防災をテーマに学習しています。

自分たちにできることをイメージしながら活動をしてほしいという先生の想いを聞き、まずは中越地震と復興に向けた活動を行ってきた方からの体験談を行いました。

その後、そなえ館に見学に行ったり、調べ活動を行っていく中で、子ども達がそれぞれ調べたいテーマ別にグループを作り活動を行うことになりました。

②2019年11月20日（水）14：05～15：40
「防災マップ作り」のグループは地域の方と一緒に地域巡検。

「防災グッズグループ」、「募金・ボランティアグループ」は最初のひとコマを合同で避難所の学習を行いました。

どんな困りごとがあるか、できることはあるか、考えていく中で、自分たちの活動が実際の災害時にどう結びつくのかイメージできました。



その後、各グループ別の活動。

防災グッズグループは、段ボールパターション作りやペットボトルランタン作りなど、避難所の体験を行いました。

担当：地域

サポーター 小林俊晴様、山下由美子様

募金・ボランティアグループは、災害時の避難所でのボランティア活動の様子を聞いたり、募金にも義援金と支援金の違いがあることを学習したりしました。

ボランティア活動のお話：河内沙苗様（東日本大震災や熊本地震での避難所ボランティアなど）



カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 避難所, 備え, 地震

23日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立新町小学校



2019年9月21日（土）8：35～12：05
長岡市立新町小学校にて「新町ものづくりワークショップ」が開催され、防災グッズづくりのブースを地域サポーター小林俊晴さん、山下由美子さんと補助スタッフのママさんたちが担当しました。

ペットボトルランタンとビニール袋雨がっぱ作り。

「ランタンは簡単に作れて、色を塗るととてもきれいですごいな」と、ランタンにライト

を点けたときの子どもたちの喜んでる姿が印象的でした。災害時には家族で作ってみたいと話してくださった保護者もいました。

「雨がっぱは袋が切りづらかったけど、スタッフの人に手伝ってもらって、きれいに切ることができた。デコレーションしたらかっこよくなって嬉しかった。」と、出来上がりに満足した子どもたち。

保護者からは、「今回のような取り組みが、実際の災害時に必ず役に立つと思いました。なぜなら、身近にあるのもで簡単に！楽しく学べたこと、そしてまた作ってみたいという気持ちになったからです。ありがとうございました。」との感想をいただきました。

今年で2回目となったこのワークショップも、とても充実した体験学習となり、「来年はこの体験をしたい」と今から子どもたちは心待ちにしているようです。新町小の皆様、ありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 備え

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、

22日 12月 2019

【新潟市立臼井小・中合同防災学習】地震後の行動を考える



2019年9月24日（火）14：50～15：50
新潟市立臼井小・中学校合同の防災学習を行いました。
場所：新潟市立臼井小学校体育館
対象：新潟市立臼井小学校3～6年生、臼井中学校全校生徒

まずは小・中合同のグループで、南区ハザードマップから避難場所や避難経路について一

緒に確認。

中学生が隣の小学生をサポートしながら温かい雰囲気での活動がスタートしました。

そして、一人で家にいる時に地震が来た場合を想定し、どんなことが心配か、解決するにはどうしたら良いだろうということをグループで話し合いました。
他グループと意見交換を行いながら、どこに避難するか、どんなことに気をつけたら良いか、どんな工夫が必要か、等たくさんの意見が出てきました。
みんなの意見を聞くことで、自分自身のことに気付いたり良い活動だったようです。
まずは自分の身を自分で守る、行動できる臼井小・中学校のみなさんをこれからも応援しています。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel. 0258-94-6119

0258-94-4582

22日 12月 2019

【新潟市立白根北中学校】煙体験と火災発生時及び発生前に中学生にできることを考える



2019年9月25日（金）14：00～15：30
新潟市立白根北中学校全校生徒を対象に防災学習を行いました。

火災時に煙による一酸化炭素中毒が亡くなる原因で多いことを伝え、実際に煙の中の避難を体験しました。
地域の防災士さんより、煙の中の避難についてお話しいただき、順番に体験しました。

※待ち時間は、火災の原因や命が助かった人の行動などの映像。

体験してみての感想を共有した後、グループで火災の予防や被害の軽減について、「自分と家族を守るため」「地域を守るため」それぞれを考えました。

あっという間に家だけでなく、思い出も失ってしまう火災、中学生も地域の一員として何ができるか真剣に考えていました。



カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 火災

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、

29日 11月 2019

【防災玉手箱】長岡市立山古志小・中学校合同防災学習



2019年10月2日（水）14：45～15：35
山古志中学校にて、小・中学校合同の防災学習を行いました。

今回は土砂災害を想定とした避難訓練。
避難後、なぜ2階のこの場所に避難したと思うか、と問いかけ、土砂災害からの命の守り方についての講話をスタートしました。

中越地震時の被害写真を見て、山古志には土砂災害が起こる場所があることを確認。

そして、同じ地域の小・中学生がグループに

分かれ、自分たちの地域の避難所はどこにあるのか、また危険か所はどこかハザードマップを見ながら確認しました。

最後には、自分たちで調べたことをそれぞれのグループが発表。

友達の家に行っている時は違う地域の避難場所を知っておくと安心だね、と真剣に他のグループの発表を聞いていました。

土砂災害が起こる危険がある場所や避難する場所を家族と事前に確認することの大切さを伝えました。

地震が起きた時や大雨の時にまちが水に浸かる前に早めに避難するためにも、家族と話し合おうと伝え終了しました。

この避難場所は行ったことがないから、お母さんに聞いてみると言っていた子もいました。
中学生が小学生に地域の避難場所やその周辺の様子など教えながら話し合いをリードしてくれるとても頼もしい山古志のこども達でした。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 土砂災害, 避難訓練

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、

24日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立青葉台中学校



2019年10月3日（木）14：45～15：35
長岡市立青葉台中学校にて、全校207名による防災講座を行いました。

まずは過去の洪水災害の写真を見て被害の様子を知り、ハザードマップから青葉台中学校区内には土砂災害の危険箇所があること、そして身の守り方について学びました。

洪水災害で亡くなった人の8割は逃げ遅れです。
どうしたら地域みんなの命が守れるか、みんなで考えました。

宮本町連合町内会長の高橋清一様と青葉台連合町内会長の畔上純一郎様に来ていただき、災害時の地域の状況や中学生への願いについてお話をさせていただきました。

青葉台地域では中学生が防災サポーターをしていて、地域の避難訓練にも積極的に参加をしています。

日頃から、地域と中学生の顔の見える関係性が災害時にも大切だと教えていただきました。

最後に地域サポーターから、身近なものを工夫して作る防災グッズとして、輪ゴムとキッチンペーパーを使ったマスク作りを教えてもらいました。土砂災害後の粉塵や、避難所での感染を防ぐためにもマスクはとても大切です。

毎年できることが増えていく青葉台中学校の皆さんのこれからの活躍が楽しみです。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 備え, 土砂災害

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

29日 11月 2019

【防災玉手箱】長岡市立栖吉小学校 中越地震語り部学習



2019年10月15日（火）9：30～12：30
長岡市立栖吉小学校第5学年の子どもたちに
中越地震の体験談を以下2名の方からお話いただきました。

- ・中越地震時に川口小学校6年生だった綱かなご様
- ・栖吉中学校に避難していた長井秀子様

子どもたちは、
・暖かいものは食べられたのかな
・夜は眠れたのかな、寒くなかったかな

・車いすの人は、トイレはどうしていただろう
と、知りたいことがたくさんあり、お二人の話に真剣に耳を傾けていました。

大きな地震が起きた時は、テーブルの下に入ることしかできず動けなかったこと、炊き出しで改めて感じた温かいご飯の美味しさ、そして男子高校生が自ら進んでおじいさんのトイレ介助を行っていたこと、地域の方と協力して過ごすことの大切さなどたくさんの事を教えていただきました。

「大切なことは、自分の命を守ること。自分の命を守ることができれば、他の人を助けることができる。助け合うことに繋がる。」この言葉をしっかりと受け止めたこどもたち。今後の活動がどのように進んでいくか、とても楽しみです。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

法人ふるさと未来創造堂

24日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立江陽中学校



2019年10月19日（土）10：30～12：30
長岡市立江陽中学校にて、学校地域合同防災学習を行いました。
体育館と武道場を使い、自治会毎の45グループに分かれ、3つの活動を体験しました。

まずは過去の災害時の様子を写真で見て、避難所の困り事にはどのようなことがあるのか、そして身近なものの工夫で解決できる困

り事もあるんだということを学び、体験活動を始めました。

①段ボールでトイレ作り

完成した段ボールトイレに順番に座り「あ、乗っても大丈夫。壊れない。」「私も座ってみたい。」と、強度や座り心地を確かめていました。便座の蓋に取っ手を付け開閉しやすいように工夫をしているグループもありました。

②段ボールパーテーションと避難所体験

パーテーション作成後に全部集めて仕切り壁を作り、床に段ボールを敷いて実際に寝てみました。

「床の冷たさを感じないし、固くないから体が痛くない。」「仕切りがあると自分の空間ができて安心する」と、こちらも数人の生徒が順番に寝ていました。

③段ボール製の更衣室兼授乳室の組み立て

背の高い男の子が率先して上部の組み立てをしたり、完成後に移動させるときには数人で軽々と持ち運んだり、組み立ても解体も男女で協力して短時間でできました。「お～中は広い、何人入れるかな」「中は結構静かだから赤ちゃんも落ち着いて授乳できそう」と、実際に中に入る広さや明るさ、そして遮音性等も感じていました。

玉手箱サポーターや地域の方からアドバイスをもらい、中学生も班の全員が体験できるように声を掛け合いながら順番に活動をしていました。

最後に自治会毎にグループで振り返りを行い、「みんなが安心して過ごせる避難所にするために私ができること」を考え、班で発表し合い終了しました。「中学生のような体力のある人たちが安心できる避難所づくりをするべきだと思うから、施設の設営とみんなが安心できるよう

な雰囲気づくりをしたい。」「今日作り方が分かったので、段ボールトイレやパーテーションを率先して作りたい。」

中学生の私たちにもできることはたくさんあると今日の体験活動を通して改めて気づきました。

実際の災害が起こったときには、江陽中学校のみなさんが活躍してくれる事を願っています。

カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 玉手箱, 避難所, 備え

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー

23日 12月 2019

【関川村立関川中学校】避難所運営について知り、中学生にできることを考える



2019年10月20日（日）8：30～12：30
関川村立関川中学校にて全校防災学習を行いました。

8：30～10：00

災害時の避難所の役割や開設基準、実際の避難所の様子や課題などを伝えた後、避難所運営ゲームHUGを活用して学習を行いました。様々なトラブルが発生したり、多様な人が来たりする中でチームで協力して対応しなければいけないことを体験し、「人まかせじゃだ

めだ」「他のチームはこの問題どうしたの？」「配慮しなければいけない人とわがままを言う人もいる、どう対応するか悩む」と運営する人の大変さを実感していたようです。

実際の避難所ではこんな対応もあったよ、こんな困りごとを中学生が力を合わせて解決していたよ、といった例を伝え、避難所に届いた物資を出した後の空き段ボールを使った工夫を体験しました。



10：00～11：30

- ・毛布担架、段ボールベッドを作るコーナー
- ・段ボールパーテーション、段ボールトイレを作るコーナー

の2つに分かれ、それぞれ実際に作って体験しました。

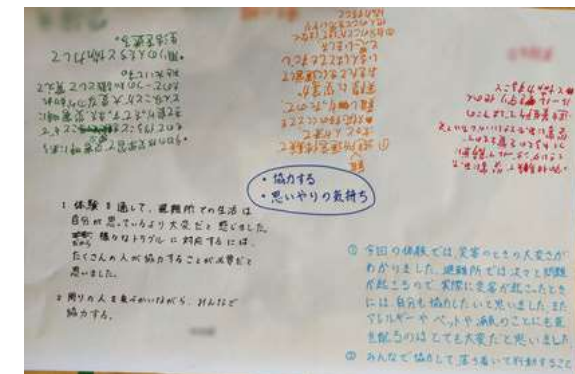
11：30～12：30

まとめ活動

グループで模造紙を囲み、今日の学習で気づいた事や感想、避難所で大切にしたいことなど、意見交流を行いながら学習をふりかえり

ました。

関川中学校には昨年も地域のまち歩き活動でサポートさせていただきました。
今後も関川中学校のご活躍を祈念しております。



カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所, 備え, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



17日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立栖吉中学校原子力災害に関する学習



2019年10月23日（月）10：40～11：30
長岡市立栖吉中学校にて全校防災学習として、「原子力災害や放射線について知り、身の守り方を考える」学習を行いました。

おおまかに以下3つのことについて、クイズや話、グループでの話し合いを通して学びました。

- ・原子力災害と放射線に関する基礎知識（放射線が人体にもたらす影響等）を知る
- ・原子力防災対策の考え方について学ぶ
- ・屋内退避や避難をする時の行動について考える。

長岡市より発行されている原子力防災ガイドブックを活用しながら学習しました。

以下、学習後アンケートより抜粋

「原子力発電は今まで「しくみは面白いし発電の効率も高い」というイメージと「なんか危険」なイメージがあった。この「なんか」

がはっきりとわかった気がする。」

「まず屋内退避というものを初めて知った。屋内退避といっても、食品管理や窓の開け閉め、気をつけなければいけない点がたくさんあることを学んだ。」

「距離によって避難の方法が分けられていることを知り、地震などは突発的に起こるので、日ごろから家の中の食料など必要なものを確認しておきたい。」

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 原子力

24日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立南中学校



2019年10月23日（水）14：00～15：00
長岡市立南中学校にて、全校防災学習を行いました。

語り部の山岸麻美様より、中越地震・中越沖地震の被災体験談を話していただきました。

当時コンビニでバイト中に地震が発生し、カウンターにしがみつくとしかできずにいた

こと。

自宅は食器棚が倒れ、停電もしていて余震も何度もあったため、近所の人たちと住宅街の道路脇で車中泊をし、食べ物を分け合ったり、重機を使える人がトイレ用の穴を各家庭に掘ってくれたり、集落のおばさんたちが炊き出しを作ってくれたり、日頃からのつながりで災害時もみんなで助け合うことができたのだと教えていただきました。

「自分には災害は起こらない、大丈夫だろう、ではなく、避難訓練や防災訓練を通して、大切な自分の命をしっかりと守ってほしい。」とお話してくださいました。

最後に玉手箱サポーターと一緒に、身近な物を使った応急手当の体験をしました。二人一組でけが人役と手当する役を交代して、止血方法や骨折時の対処法を学びました。「止血はもっと強く押さえたほうがいいですか」と質問をしてくれたり、「ビニール袋ってこんな使い方ができるんだ」と、みんな積極的に取り組んでくれました。

地震はいつ起こるか分かりません。「緊急地震速報」の数秒後には揺れ始めます。その数秒で、机の下に隠れる、落ちてこない・倒れてこない場所に移動をする等、一歩でも命を守る行動をとるよう伝え終了しました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、わくわくする「防災教育」をきっかけに、

23日 12月 2019

【新発田市立川東中学校】避難所の実際を知る・中学校にある備蓄品を確認する



2019年10月30日（水）13：40～15：30
新発田市立川東中学校にて全校防災学習を行いました。

この学習の1週間前には教頭先生より、避難所の課題を題材とした全校道徳の授業を行っていました。
自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりしながら話し合いの中で納得できる答えを探す活動を通して、公正、公平に判断することや差別、偏見をゆるさないこと等を学んだ生徒たち。

まずは、避難所の実際の様子や運営について伝えた後、実際の避難所で起きた課題を例に困りごとを解決する方法をグループで考えました。

経験したことのない問題の解決策を考えることは難しく、悩んでいましたが、泣いている赤ちゃんを抱えたお母さんに対し「こどもの遊び相手になってあげる」「お母さんに声をかけてお母さんの話を聞いてあげる」などその人その人の気持ちを考え、寄り添った意見を出していました。

その後、実際に中学校が避難所になった場合の体験として、中学校の備蓄品（毛布や簡易トイレなど）を確認したり、非常用持ち出し品を確認したりする活動を行いました。新聞紙を使って紙コップも作りました。

学習後のアンケートでは、

「避難所では、自分が道徳の時に考えてはいない困りごとがたくさんあると思いました。赤ちゃんを連れている人はどうすればいいかと考えた時は自分でもあまり思いつかなかったけど、みんなの意見を聞いたら、そういう意見もあるんだなあと思いました。家の人にも話してみたいと思いました。」

「他の地域が災害にあっている写真は、ニュースでもたくさん見ていましたが、学校においてある簡易トイレやシートなど、そして川東地域のハザードマップを見ると、改めて他人事にして考えてはいけないのだと知りました。他校の生徒のように自ら考え行動できるよう頑張りたいです。」

かぞの声がありました。川東中学校のみなさんありがとうございました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所, 備え

23日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立刈谷田中学校 煙体験



2019年11月6日（水）長岡市立刈谷田中学校（全校生徒188名）にて避難訓練後に煙体験を行いました。

14：35～避難訓練を実施し、14：55～15：35で消火器の体験と煙体験を交代で体験しました。
消火器は消防署が担当、煙体験は玉手箱サポーター2名が担当しました。

体育館内のパーテーションで仕切ることができ、用居室のようなスペースを体験場所とし

ました。

しっかりと右手で口をおさえ、左手で周りや壁を確認しながら煙の中を避難することの難しさを体験。

昨年も煙体験を行っていたため、1年生に避難方法を実演してくれた3年生の姿。先生の誘導の中、真剣に活動を行っていました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 火災, 避難訓練

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com

23日 12月 2019

【新発田市立猿橋中学校】煙の中の避難の難しさや火災を予防することの大切さを実感



2019年11月8日（金）14：50～15：50
新発田市立猿橋中学校にて、火災に関する防災学習を行いました。

火災からの身の守り方に関するお話をした後、実際に煙の中の避難を体験。
全校生徒540名と大人数のため、第一地下室、第二理科室の二部屋を使い実施しました。
待ち時間には火災の原因に関する映像を見ながらワークシートの記入を行いました。

実際に体験し、煙の中の避難はむずかしい、あっという間に真っ黒な煙に囲まれてしまったら...
やっぱり日ごろの生活の中で火災を予防することが大切だ！と実感していた様子でした。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 火災

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

23日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立下川西小学校 学校保健委員会



2019年11月14日（木）15：25～16：10
長岡市立下川西小学校にて、第17回学校保健委員会活動の中で防災教室を行いました。
下川西小学校4～6年生27名とその保護者、
地域の方含め約80人の方に参加いただきました。

台風19号での被害や平成30年7月豪雨時の被害の様子などを伝えたり、下川西小学校区のハザードマップを使ってクイズ形式で地域の災害リスクなどを学びました。

その後、保護者と子どもたちが一緒に、持ち出し品には何が必要か相談しながら考えました。

自分が必要だと思うものは何だろう？おじいちゃんおばあちゃん？妹、弟は？と災害時の様子を考えながら一生懸命考えていました。

地域の方もその様子を見ながら、地域の方同士で何が必要か話し合っていました。

「お父さんのぜんそくの薬がある」「お母さんの化粧品がある」など家族を守るために真剣に考えていました。

～学習後のアンケートより～

小学生の感想

「もちものや、ひなんするところをいえにかえたら、かぞくではなしたいです。じぶんでもじゅんぴをしておきたいです。」（4年生）「今日の活動で、災害で、いつ、どこで、おきるかわからないので、一つでも役立つものを持ち、自分が家族の命を大事に思い、すぐにひなんをして、たすけられる人がいたらたすけていこうと思います。」（5年生）

「防災はすごく大事だということを今改めて知った。それに、防災用品がたくさんあることにかんしても、とてもびっくりした。」（6年生）

保護者・地域の方の感想

「何でもかんでも持って出るのではなく、人に借りれない自分だけのものを第一に考えることが良くわかりました。」

「必要だと思っていても、できていなかった防災グッズ、家族が1人ずつ用意しようと改めて実感しました。生徒さんも家族のことを考え、グッズを上げていてとても良い時間だと思いました。」

「クイズ①（洪水災害は予想できるか）の答えを間違っただも達の多さに驚きました。私たち大人もそうですが、どこか他人事のように思っているところがあるので常に危機感を持って準備等しなければいけないと改めて考える良い機会だったと思いました。」

カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 備え

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

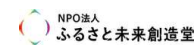
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



23日 12月 2019

【新発田市立東中学校】避難所に関する学習



2019年11月15日（金）13：35～15：35
新発田市立東中学校にて避難所に関する防災教室を行いました。

避難所の様子を紹介し、避難所は避難してきた人を含め、地域、学校、行政みんなで協力して生活することを押さえた後、実際の避難所を例に困りごと・その解決策について考えるグループワークを行いました。

その後、段ボールパーテーション作りと新聞紙食器作りを体験しました。

活動が始まる前に先生と準備をしていると、「何してるんですか？手伝います！」とどんどん生徒がやってきて、一緒に新聞を分けてくれました。そして体験の間も、しっかりと意思表示をしながら声を出したり、笑顔でうなづいたりする子ども達。

友達同士もちろん、大人とのコミュニケーションをとることを楽しんで生活している様子が伝わってきました。

「避難所でわたしたち中学生も役立てると思うので、できることを率先してやっていきたい」という東中学校のみなさんが地域の大きな力になることと思います。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所, 備え

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

法人ふるさと未来創造堂

23日 12月 2019

【新潟市立松野尾小学校】地域合同防災訓練



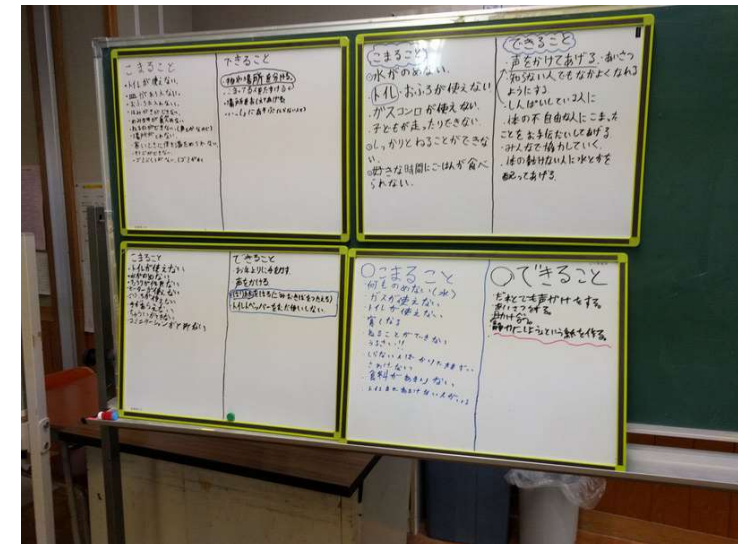
2019年11月16日（土）10：55～11：40
新潟市立松野尾小学校にて、3、4年生の防災学習を担当しました。

この日は地域合同防災訓練。地域の方と一緒に学校へ避難してきました。
体育館で新潟大学のト部厚志教授のご講演を聞きいた後、各クラスに分かれ、防災学習を行いました。

3、4年生は、避難所ってどんなことに困るのだろう、どう解決したら良いだろうとグループで災害時を想像しながら考えました。

最初に中越地震時に赤ちゃんを連れて避難所

へ行った体験談をお話しました。水道・ガス・電気が使えなくなること、赤ちゃんからお年寄り、外国の人、障がいを持った人など様々な人が一緒に生活することを確認し、自分だったら何が心配かな？嫌だなと思うことはあるかな？と考えてもらい、たくさんの意見が出てきました。
まずは自分の命を守る。そのあとはみんなで協力して生活していくんだ、と最後に確認し終了しました。



カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 避難所, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



23日 12月 2019

【防災玉手箱】長岡市立柿小学校



2019年11月17日（日）9：30～11：20
長岡市立柿小学校にて全校防災学習を行いました。

この日は地域合同防災訓練のため、体育館に地域の方も避難して来られ、こどもたちも一緒に地域の方の中越地震の体験談を聞きました。
その後、地域と保護者は防災講話、こどもたちは全校防災学習を行いました。

全体講師・グッズ作り担当 ふるさと未来創造堂 中野明子

避難所体験コーナー 地域サポーター 神保道雄様、神保多郎様

はじめに避難所の様子について伝えた後、防災グッズ作り（ビニール袋で雨がっぱ）を行いました。



その後2グループに分かれ、
・新聞紙食器、紙コップ作り
・段ボールパーテーション作り、避難所体験

の2コーナーを順番に体験しました。

すべて縦割り班で活動を行い、率先して高学年の子が下の学年の子を手伝い、わからないところはしっかり質問にくる、不安そうな女の子の手を握ってあげている高学年の姿が素晴らしいかったです。

柿小学校区内の地域にお住いの神保さんより、地域で備えている災害用トイレを展示していただいたり、実際にテントの中に寝てみたり、パーテーションを作ってみたりと普段できない体験ができた先生方からもお声をいただきました。

家に帰ったら今日の活動を家族に話し、災害時どう行動するか家族と相談しておくことを伝え終了しました。



カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 避難所, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

31日 1月 2020

【防災玉手箱】長岡市立青葉台小学校



2019年11月18日（月）14：15～14：55
長岡市立青葉台小学校にて、全校防災講座を行いました。

地震発生後の写真資料からどのような被害が起こるのかを学んだ後、集団下校班ごとに分かれ「小学校区の危険箇所はどこか」、「地震が発生したらどのように行動して自分の命を守るのか」をみんなで考え、発表しました。

た。

青葉台連合町内会長の畔上純一郎様より、地震の揺れが収まった後の行動についてお話をいただきました。

また、町内ごとに違う一時避難場所の写真を提示しながら、子どもたちにも分かりやすく教えていただきました。

最後に、今日自分たちで調べた通学路の危険箇所を下校時に実際に確認すること、自分たちの町内の一時避難場所を確認すること、帰宅後には家族と地震時の行動について話し合うことを伝え終わりました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 地震

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39
0258-94-6119

31日 1月 2020

【新潟市立白根第一中学校】火災から自分の命を守る

2019年11月20日（水）14：55～15：40 新潟市立白根第一中学校にて、火災に関する防災学習を行いました。

過去の住宅地での火災や糸魚川大火などの写真を見て、火災の原因や焼死者の死亡原因、そして火や煙の怖さを学びました。
煙により前も後ろも何も見えない状態で避難することがどれだけ難しいことか、実際に疑似煙を充満させてその中を通り抜ける避難を体験しました。

終了後のアンケートでは、

「煙体験をして、前が見えにくく、いつもより暗いということが分かりました。すごく怖いなと感じました。

たくさんの人の命を守るためにたくさんの取り組みが必要だと改めてわかり、家でできるようなものがたくさんあったので

家の人やおいちゃんたちに紹介したり注意を呼び掛けていきたいと思った。」
「火災原因を知り、身近な生活の中のことが多くびっくりした。キッチンだけで火災原因がたぶんあるのもびっくりした。

乾燥する冬場になるので、特に気を付け、火災が起こらないように心がけていきたい。」
「私は大切な家族を失いたくないです。今できる限りのことをして、火事を絶対に起さないようにしたいです。」

「思ったよりも前が見えなくてこわかった。本当に起きたらパニックにならないように、今日の事を思い出して落ち着いて行動したい。

濡れたハンカチなどで口を押える、低い姿勢、階段の降り方など、今日学習しないとわからなかったです。」

などたくさんの感想が見られました。

自分の命、家族の命を守るために、日ごろから予防していくことの大切さを感じたようです。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 火災

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、

31日 1月 2020

【新潟市立味方中学校】避難所運営ゲームHUG体験



2019年11月28日（木）13：50～15：40
新潟市立味方中学校にて、全校生徒84名が15グループに分かれ避難所運営ゲームHUG（ハグ）を活用した防災学習を行いました。

実際に避難所が開設され、自分たちのグループで運営をしなければいけない状況を想定し、協力して人の配置や問題解決をする体験

を行いました。

人数の把握と素早く受付をするためにはどうしたらよいだろう？

「受付の人数を増やそう」「ケガ人や病人は優先して受付をしよう」「並んでいる人に早めにカードを配って、書きながら待ってもらおう」みんな一生懸命考え、たくさんの案を書き出していました。この体験を通して、災害時の避難所の様子や運営の難しさを知りました。

災害時、動ける大人だけで避難所を運営するには限度があります。

中学生からは、災害時に中学生にできることとして、

「災害が起きる前から地域にどんな人がいるのか考えておく」

「自分たちも自ら動く」

「困りごとを聞くためのスペースを作る。スタッフが避難所を回り、困っていることがないか聞く」

などの意見がでました。

自分たちにできることは沢山あるんだということが分かり、困った時には助けになりたいと話してくれた味方中学生のみなさんでした。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、

わくわくする「防災教育」をきっかけに、

よりよい未来を創る

一体での共育社会の再建を目指します。

23日 12月 2019

【新潟市立白根高校】洪水災害から家族を守るタイムラインを考える



2019年11月29日（水）13：30～15：20
新潟市立白根高等学校1、2年生125名を対象に洪水災害に関する防災教室を行いました。

過去の洪水災害の様子を写真で紹介し、洪水洪水災害から命の守り方を確認した後、グループでハザードマップを見て情報を読み取ったり、不足している部分を説明したりしながら白根地域の洪水のリスクを確認しました。

そして、

- ・洪水災害で亡くなる方の多くが逃げ遅れ・高齢者である
- ・早めの避難をするためには、ハザードマップ等で居住地域や滞在地域が災害時どのようなかを知っておくこと
- ・様々な情報の意味を知り、家族や地域で話し合い、予め時間を逆算しての防災行動計画（タイムライン）を作成しておくことを伝えました。

そしてグループでタイムラインについて考える活動。

タイムラインの考え方やポイントを伝え、参考資料を見ながらタイムラインシートに付箋紙で行動を記入していきしました。

「高齢者を先に避難所に連れて行っても1人じゃ心細いから、この時にお母さんと私は一緒に避難しよう。」

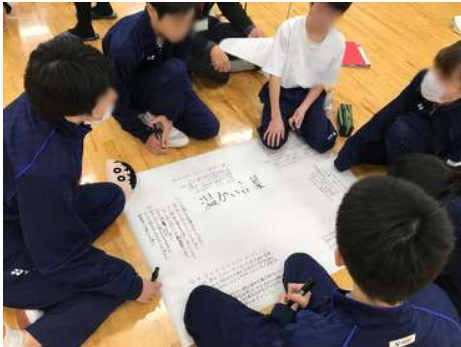
「ペットを先に預けに行った方がいいかもしれない。」「情報に気をつけながら、避難グッズを準備しておく」など、

災害が発生するまでの時間をどう過ごすか意見を出し合っていました。

カテゴリ：活動紹介, 家庭のみなさま, 学校関係者, 洪水

31日 1月 2020

【新潟市立中之口中学校】避難所運営ゲームHUG体験



2019年12月20日（金）13：40～15：30
新潟市立中之口中学校の2年生50名と地域の方が一緒に避難所運営ゲームHUG（ハグ）体験をしました。

「だれか任せにした運営ではいけない！自分たちも動かなくては」と感じた中学生たち。他に避難所ではどんな困り事があるんだろう？どんなことに困るのだろう？地域の方に質問したり、一緒に考えたりする中で、自分たちに何ができるのか考えました。

最後に、災害時の避難所運営で大切にしたいキーワードとその理由をグループで話し合い、「困っている人を見かけるのではなく、自分から積極的に探して少しずつ困り事をなくしていきたいと思った。一人だけに頼らず、一人で頑張っている人を自分から手伝って助け合っていきたい。」といった声がありました。

運営側の大変さを知り、自分たち中学生にできることは積極的に協力したいという頼もしい中之口中の2年生たちでした。



授業終了後、地域の方にご協力いただき、今度は3年生がこれまで学習してきた成果を地域の方へ紹介。

グッズの作り方などが書いてある冊子を地域の方にお渡し、実演も行いました。

わかりやすくていい！と地域の方も大変喜ばれていました。



カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 避難所

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、
わくわくする「防災教育」をきっかけに、
よりよい未来を創る
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー

28日 2月 2020

【十日町市立中条小学校】火災から命を守る備えを知ろう



2020年1月9日（木）10：40～11：45
十日町市立中条小学校にて、火災の講話を行いました。

火災が起きたらどうやって命を守ったらいいの
だろう？

学校にはどんな施設があるの
だろう？

【火事を見つけたら119番に電話をする！】
119番に電話をするとどんなことを聞かれる
の
だろう？

問いかけると元気に発言をしながら学ぶ中条

小学校のこどもたちです。

そして、実際に代表の子が消防に電話をかけました。

ハンズフリーの声をマイクでひろいながら、
全員でどんなことを聞かれるのか、確認しました。

火事ですか、救急ですか？住所は？何が燃えていますか？

今回は学校で火災が起きたことを想定して電話をしましたが、住所が分からなくても目印になる建物などを伝えたり、近くの信号機や電信柱に地名が書いてあったりすることなどを話しました。

最後に、学校の施設（非常ベル、消火器や消火栓、防火扉、避難器具のオリロー）がどこにあるのか、
どのように使用するものなのかを確認しながら教室に帰りました。

「これが防火扉だったんだ」「分厚い扉だね」と、触って確認している子どももいました。
お・は・し・も（押さない・走らない・喋らない・戻らない）を守って避難することの大切さも改めて感じていました。

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 火災, 避難訓練

28日 2月 2020

【防災玉手箱】長岡市立栖吉中学校



2020年1月17日（金）13：50～14：35
長岡市立栖吉中学校にて、新潟県防災教育プログラムを活用した【雪災害】についての防災学習を行いました。

昭和38年豪雪時の長岡市内の様子を見て
「2階建ての家が雪で埋まっている」
「こんなに雪が積もるなんて信じられない」
と、生徒たちは驚きを隠せない様子でした。

雪による災害にはどのようなものがあるの
だろう？

防災士の小林俊晴様より、雪災害の種類や身の守り方についてスライド資料を見ながらお話を
していただきました。

今年は暖冬小雪と言われていますが、一昨年のような大雪が栖吉地域で発生したら「誰が」
「どのようなこと」に困るのか、また中学生として自分たちができることは何かをみんなで考
えました。

雪による災害の6割が除雪作業中の事故で、特に多いのは屋根の雪下ろし中の転落事故だと学び
ました。

家の前の雪かき作業一つをとっても高齢者には重労働で、心筋梗塞や命にかかわる病を発症し
てしまう場合もあることも知りました。

近所の方と声を掛け合いながら一緒に雪かき作業をすることも、中学生としてできることの
一つです。

<生徒代表のお礼の言葉>

「今日学んだことを今後に活かせるようにしたいです。中学生ができることはたくさんあると
わかりました。大雪になったら地域の方々と協力したいと思いました。」

カテゴリ：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱

28日 2月 2020

【防災玉手箱】長岡市立上川西小学校

2020年1月23日（木）10：35～10：50

長岡市立上川西小学校の避難訓練後、語り部の石橋佳代様より、中越地震の体験談をお話いただきました。

地震発生時は「ドン」というすごい音がして、立ってられないほどの大きな揺れだったこと。当時2才だった子どもを抱き上げようとしたとき、自分の背中にトースターが落ちてきて怖い思いをしたこと。とにかく子どもを守ることと精いっぱいだったお話を伺いました。

砂壁が崩れていたり、ぶら下がっている電球が揺れでぶつかり合って割れていたり、家の中の被害の様子も教えていただきました。

2才児の頭上にトースターが落ちていたら、大怪我をしていたかもしれません。
割れた電球の下にいたら、ガラスの破片で怪我をしていたかもしれません。

お話を聞いて、地震の時は物が「落ちてこない・倒れてこない・動いてこない」場所で身を守ることの大切さを学びました。

石橋さんのお家は揺れが落ち着いた後にも幸い電気・ガス・水道のライフラインが使えるました。ご飯を炊いておにぎりを握ったり、お風呂のお水を溜めたり、お湯を沸かしてポットに入れたり、ライフラインが止まってしまった時のことを考えて備えたのだそうです。

ライフラインが使えなかったら何に困るのかな？

「電気が使えなかったら夜は真っ暗で何も見えない」→だから懐中電灯が必要なんだね。

「寒くてもコタツやエアコンが使えない」→だからホッカイロやアルミブランケットが必要なんだね。

「水が出ないとどが渴いても飲み物が無い」→だからペットボトルの飲料水を保存しておくんだね。

子どもたちは困り事を考え、何を備えると解決するのかを学びました。

地震は突然起こります。家庭での備えについて、ぜひご家族で話し合ってみてください。

📄：活動紹介, 学校関係者, 玉手箱, 地震, 避難訓練